

NIPPONIT チャリティ 駅伝 支援金

2023年1月～11月の事業報告

認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね



2022年12月に、NIPPONIT チャリティ 駅伝様より55万円のご寄付をいただきました。たらちねでは、この支援金を子どもたちの健康に関する事業に役立たせていただいております。

【たらちね「こどもドック」の実施】

たらちねクリニックで実施している「こどもドック」は、子どもの健康診断です。診療科目は血液検査、尿中セシウム検査、甲状腺検診、身体測定、ホールボディカウンターによる全身放射能測定などです。2011年の原発事故による放射能汚染は、子どもたちの身近にある自然環境を汚してしまいました。福島やその近隣で生活する子どもたちには、常に被曝のリスクがつきまといまいます。日常の放射能測定を行うことと、飲食に気をつけることで、被曝の影響のない地域の子どもたちと同じ健康な体を維持することができるよう努めています。

また、震災当時幼かった子どもたちが、大人になり自分の健康を自分で守る年代になりました。子どもドックは、このような方達たちも多く利用され、語りづらい放射能のこと、日常生活の中での心配事等多く話されていきます。リスクを認識し、検診をまめに行うことが子どもたちの健康を守ることに役立ちます。

1月～11月までの期間に子どもドックを受けた子ども的人数：のべ75名

1回の実施で10,000円ほどかかる検査です。NIPPONITチャリティ 駅伝からの支援金は、50名の子どもたちの検診に使わせていただきました。

● 子どもドック

● 内科検診
● 身体測定



● 甲状腺
● エコー



● WBC



● 心電図



● 採血



● 聴力



たらちね・子どもドックのご案内

対象者：東日本大震災当時、18歳以下だった方(お誕生日が1992年4月2日以降の方)

検査項目 ※希望する項目のみを受けることができます	自己負担で検診を受ける場合	全国の皆さまからのご支援を受けて検診を受ける場合
診察 ・内科診察	無料	無料
甲状腺超音波(エコー)検査 ・のう節や結節などの有無を調べます	3,500円	無料
ホールボディカウンター(WBC) ・全身の放射能測定(5-15分間)	無料	無料
尿中セシウム測定 ・自宅で2回の検尿が必要です	4,000円	無料
身体計測・生理学的検査 ・身長・体重・視力・聴力・血圧		
血液検査 ・末梢血液一般 ・FT4 ・CRP ・ALT ・カルシウム ・クレアチニン ・ナトリウム及びクロール ・CK ・LD ・Tcho ・HDL-Ch ・中性脂肪	5,260円	無料
尿一般検査 ・比重、PH、蛋白、糖、ウロビリノーゲン、潜血		
心電図	1,300円	無料
合計	14,060円	無料

※採血などの検査を怖がるお子さんには、実施できない場合もあることをご了承ください。
※肺呼吸機能検査も受けることができます。
※こちらのケア(看護師/スタッフとの相談)も受け付けております。

一般的な血液検査は肝臓、腎臓、貧血、炎症反応などを調べます。
たらちねクリニックの血液検査は上記の項目に加えて**甲状腺ホルモン**なども調べます。

【たらちねクリニック】
福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階
TEL 0246-38-8031



● 子どもドック手帳の配布

「事故当時小さかった子どもたちが成長し、大人になっても自分自身の健康を守っていけるように」という願いを込めて作成しました。子どもドックを受診者、全員にお配りしています。健康診断の結果が記載できるようになっています。



項目	検査項目	検査時期	検査結果
内科検査	身長	cm	138
	体重	kg	48
	血圧	mmHg	110/70
	脈拍	回/分	70
	体温	℃	36.5
	聴診		正常
	視力		0.5
	眼底		正常
	歯		20本
	口腔		正常
外科検査	頭部		正常
	頸部		正常
	胸部		正常
	腹部		正常
	骨格		正常
	皮膚		正常
	泌尿器		正常
	生殖器		正常
	その他		正常
	検査結果		正常

作成の背景

事故後、福島差別が至る所でおこっていました。「私は健康です。」と、胸を張って言えるよう、お守りとなるよう作成しました。

● 子どもドック利用者の声



家族に心配させたくないとの理由で、SNSなどを通じての放射能の健康被害について、院長にたくさん質問をしていた学生さん
→先生からの「異常なし」との言葉を聞くのが、何より薬です。当時の記憶は、正直あまりないですが、怖かったことだけは記憶にあるんです。



子どもは成長は、あっという間であるお母さん
→最近は、成長の過程を振り返ることが度々あり、不安なこともたくさんあるが、子どもドックはその不安を軽減出来る1つです。



甲状腺検診を定期的を受診しているが、データを記録するすべがなく困っていた自主避難者の会
→こういう手帳を探していました。子どもドック手帳があれば、記録として子どもたち残していけます。遠方で子どもドックは受診できないのですが、是非避難している子どもたちにだけ欲しいのでしょうか？

見えない・におわない・感じない環境汚染である放射能の被害は、測定し、可視化することにより 予防することができます。これからも、子どもたちの健康を守るためにご支援者の皆さまと力を合わせ、子どもたちのために尽くしていきたいと思えます。

いわき放射能市民測定室たらちね 事務局長 木村亜衣